



三岐鉄道北勢線ガイドブック



NARROW GAUGE 762mm



北勢線事業運営協議会

(桑名市・いなべ市・東員町・三岐鉄道)

北勢線は、三重県の北勢地方に位置する桑名市・東員町・いなべ市内を走る、全国的にも珍しいナローゲージ路線です。



西桑名駅から阿下喜駅(全13駅20.4km)

(桑名市～東員町～いなべ市)単線

※ナローゲージ路線長No.1



●いなべ市

●東員町

●桑名市

※駅名が赤色の駅は有人駅 P 無料駐車場



ナローゲージ最西端の阿下喜駅



東員駅



蓮花寺駅



全方向踏切警報灯
東員7号踏切



踏切障害物検知装置
東員12号踏切



関西線跨線橋・名古屋線跨線橋(桑名市)



ナローゲージ

「ナローゲージ」とは、線路幅(ゲージ)が国際標準軌1,435mmよりも狭い(ナロー)鉄道です。国内の鉄道では、JRが採用している1,067mmのゲージよりも狭い線路幅の鉄道を指すことが多いようです。

昔は、国内各地で運行されていましたが昭和40年代までにそのほとんどが廃止され、現役で残っているのは、北勢線、四日市あすなろ鉄道と黒部峡谷鉄道(愛称:トロッコ電車)の3路線だけです。



四日市あすなろ鉄道

3種類の線路幅が一望できます(三崎跨線橋:桑名市)

近鉄
1,435mm

JR
1,067mm

北勢線
762mm

西桑名2号踏切(手前)
日本で唯一、3種類の線路幅を体験できます

- 運転最高速度 45km/h
- 車両／7編成 (K71、72、73、74、75、76、77) 24両 (電動車9両、付随車15両)



200系 (K77編成) 北勢線開業100周年記念旧北勢線カラー

200系 (K77編成) ※桑名寄3両

連結器を持たずに、台車で車両を連結する特殊な構造(連接台車▲)を持つ非常に珍しい車両です。この構造は、他の鉄道でも採用されていますが、国内の特殊狭軌で現存しているのはこの車両のみであり、とても貴重な存在です。

1964 (昭和39年) 年に三重線 (現: 近鉄湯の山線) から移籍してきました。



一般的な連結



車両と車両を台車で連結する200系の連接台車

K77編成車内紹介



北勢線で唯一の前向座席 (阿下喜寄1両) 車両間が平らな連結部



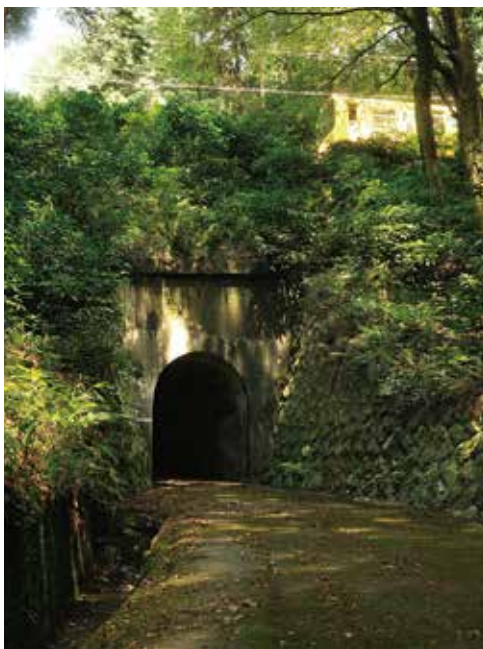
北勢線を支える縁の下の力持ち
軌道モーターカー



砕石運搬車仕様



3編成が同時に見られることも: 東員駅
ヴィアティントレイン 令和4年4月1日~令和7年3月29日運行



洞門口 / 麻生田駅から徒歩約2分



八幡神社 楚原駅から徒歩約17分



八幡神社付近は、線路の
曲線半径が北勢線最小です。



発条転轍機 / 楚原駅
(スプリングポイント)



北勢線一の急勾配 / 楚原駅東



北大社車両区

北勢線の車両の検査などを行っています。

「土木学会選奨土木遺産」の「ねじり橋」と「めがね橋」

「土木学会選奨土木遺産」とは、技術水準の高さや、歴史的・文化的・地域資産としての重要性を評価された土木施設で、その選定にはまちづくりへの活用を図る目的もあります。

この二つの橋はともに大正5年に竣工されたもので、現在でも供用中の数少ないコンクリートブロックアーチ橋です。当時の高い技術が生んだ美しい曲線を持つ両橋は、「ねじり橋」「めがね橋」の愛称で今も地元の方々に親しまれています。



大把野井水拱橋 ねじり橋

(長さ約9.1m)

平成21年度／土木学会選奨土木遺産

江戸時代に作られた「大把野井水」に架かる橋で、橋と用水が斜めに交差するため、アーチ橋下部のブロックは、ひねりを入れて積まれています。

この構造は「ねじりまんぼ」といい、現存するコンクリートブロック製の橋では唯一といわれる大変貴重な橋です。

(楚原駅から徒歩約17分)

明智川拱橋

めがね橋

(長さ19.8m) 平成21年度／土木学会選奨土木遺産

全国に数多く存在する眼鏡橋の中でも、大変珍しいコンクリートブロック製です。

ねじり橋から約230m阿下喜寄りに位置するこの橋は、三連式のアーチが美しく、北勢線の代表的な撮影スポットとなっています。(楚原駅から徒歩約17分)



ねじり橋・めがね橋を訪ねてみませんか？

楚原駅から徒歩約17分

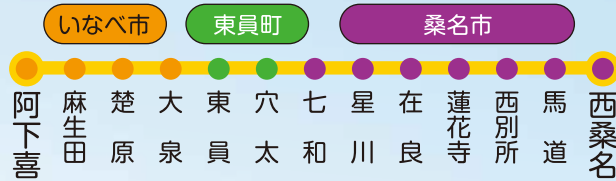


緑が映える200系 (K77編成) めがね橋

三岐鉄道北勢線沿線マップ



西桑名駅から阿下喜駅(全13駅20.4km)



A いぎわいの森 いなべヒュッテ

お問合せ／グリーンクリエイティブいなべ TEL0594-72-7705

■阿下喜駅から徒歩約23分 いなべ市北勢町阿下喜31番地



雄大な鈴鹿山脈を望むロケーションも魅力の食の複合施設。豊かな緑に囲まれた散歩道を歩きながら、カフェやブーランジェリーなど人気の6軒を巡ることができます。毎週日曜にはプチマルシェも開催しています！

B 軽便鉄道博物館 (入館無料)

お問合せ／TEL0594-72-2478(安藤建材店)

■阿下喜駅隣接



実物の電車とパネルなど貴重な資料を展示しています。

また、ご家族でお楽しみいただけるミニ電車ホクさんに乗車できます。

開館日時 毎月1・3日曜 10～16時

※1月のみ第2・3日曜

C 万葉の里公園 (あじさい)

いなべ市北勢町阿下喜 3083-1

(いなべ市北勢市民会館周辺)

■阿下喜駅から徒歩約19分

万葉集に詠まれた植物を集め、原歌をそえて紹介してあります。



D 八幡祭

いなべ市北勢町阿下喜地内

■阿下喜駅から徒歩約5分

市の無形文化財で、毎年7月下旬に行われる伝統的な祭りです。大人・子どもみこしや仮装行列なども行われます。



E いなべ公園

いなべ市員弁町楚原1303

■楚原駅から徒歩約24分



員弁大池のほとりにある、いなべ公園には、4つの広場や3つの橋、遊歩道などがあります。シンボルタワーから見える景色は絶景です。

F ふれあいの駅 うりぼう

いなべ市員弁町大泉2517

定休日／毎月最終火曜日 TEL:0594-74-5866

■大泉駅隣接

地元のとれたて野菜・くだもの・花などを中心に特産物をお値打ちに販売しています。季節にあわせたイベントも実施しています。



G コスモス畑 東員駅周辺

東員駅や中部公園周辺の休耕田を利用し植えられるコスモス畑、広大な敷地一面に広がるコスモスは東員の秋を代表する風物詩です。

例年7月下旬～8月上旬に種まきをし、10月上旬に開花。一番の見ごろは10月中旬。



H 中部公園

員弁郡東員町大字北大社1634
(東員町役場南)

■東員駅から徒歩約13分



大型遊具やバーベキュー広場、健康広場、パークゴルフ場など、子どもからお年寄りまで楽しめる施設です。

I LA・PITA東員スタジアム

三重県員弁郡東員町大字北大社323

■東員駅から徒歩約17分

桑名市、いなべ市、東員町など北勢地域をホームタウンとして活動するサッカーチーム「ヴィアティン三重」のホームスタジアム。

ホームゲームの開催時には、試合観戦はもちろん、スタジアムグルメやイベントなど、大人も子どももファミリーも一日中楽しめます。



J 大社祭 猪名部神社

お問合せ／猪名部神社 TEL:0594-76-2424

■東員駅から徒歩約16分

鎌倉時代、員弁郡司員弁三郎行綱が若者の士気を鼓舞するために行ったのが始まりとされる祭りです。青年騎手が祭馬とともに神社周辺を練り歩く「馬曳き神事」などが行われています。

開催時期:4月上旬



K 六華苑

桑名市桑名 663-5

お問合せ／六華苑 TEL:0594-24-4466

■西桑名駅から徒歩約17分



鹿鳴館の設計で有名なジョサイア・コンドル氏が手がけた邸宅のひとつ。国の重要文化財に指定されており、近年ではドラマや映画のロケ地になっています。和洋折衷の明治、大正期を代表する近代建築です。

L 七里の渡跡

桑名市東船馬町

■西桑名駅から徒歩約20分



熱田・宮の渡しから海上七里で桑名に着いたことから「七里の渡」と呼ばれています。式年遷宮毎に内宮宇治橋の鳥居の御用材を使い、建て替えられます。

M 九華公園

桑名市吉之丸 5-1

■西桑名駅から徒歩約19分



桑名城址が公園として整備され、園内は桜、つつじ、花菖蒲など四季折々に咲き誇る花々で彩られる市民の憩いの場です。桜の季節には舟めぐりが行われます。

N 石取祭

春日神社周辺

お問合せ／桑名市物産観光案内所

TEL:0594-21-5416

■西桑名駅から徒歩約16分

30数台の祭車が鉦や太鼓を打ち鳴らす勇壮無比な祭りです。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

開催時期:8月第1日曜日とその前日の土曜日



O 桑名水郷花火大会

揖斐川鍋屋堤

お問合せ／桑名市物産観光案内所

TEL:0594-21-5416

■西桑名駅から徒歩約20分

水中スターマインや仕掛け花火にスターマイン、そして東海地区最大級の二尺玉が打ち上げられます。西桑名発の臨時列車も運行いたします。

開催時期:7月下旬



北勢線ラッピング車両

ヴィアティントレイン

日本フットボールリーグ(JFL)所属「ヴィアティン三重」のラッピング電車「VEERTIEN TRAIN(ヴィアティントレイン)」はもともと黄色い車体であったK74編成を黒く塗装し、その上からオレンジのラッピングを施してあります。ヴィアティン三重のチームカラーであるオレンジは希望と活力を、ブラックは自信と無限の可能性をそれぞれ表しています。

運行期間 令和4年4月1日～令和7年3月29日



ナロウイントレイン

北勢線の1編成(3両)がハロウィン仮装 車体はもちらん車内にもかわいらしいラッピングを施しました。

運行期間 平成27年10月7日～平成30年11月1日



鉄道むすめ「楚原れんげ」ラッピング電車

北勢線の1編成(4両)に車両の前後に楚原れんげのイラストが描かれたヘッドマークを掲げ車両側面にもキャラクターが描かれています。鉄道むすめは、駅や列車、路線の名前にちなんだ名前が付けられたキャラクターで楚原れんげの名前は、北勢線の「楚原駅」と「蓮花寺駅」から取っています。

運行期間 平成31年4月24日～令和3年9月11日



クリスマストレイン

北勢線の緑と白のボディーカラーのK77車両をクリスマス仕様にラッピングしました。また、この車両にあわせ12月のクリスマス付近の休日に車内をクリスマス仕様に飾り付けを施し、乗車した子どもたちにお菓子のプレゼントを配布する、サンタ電車を運行しています。

運行期間 毎年11月末～12月末 (平成30年度から)



北勢線の主なあゆみ

- 1912(明治45年) 北勢鉄道(株)設立
1914(大正 3 年) 大山田(現:西桑名)―楚原間14.5km開通
1915(大正 4 年) 桑名町(後の桑名京橋)―大山田間0.7km開通
1916(大正 5 年) 楚原―阿下喜東(後の六石)間4.6km開通
1931(昭和 6 年) 全線開業 全線電化(直流600V)
1934(昭和 9 年) 北勢電気鉄道に社名変更
1944(昭和19年) 三重交通(株)に合併
1954(昭和29年) 電車線電圧を600Vから750Vに昇圧
1961(昭和36年) 桑名京橋―西桑名間0.7km廃止
1964(昭和39年) 三重電気鉄道(株)に改称(三重交通(株)から鉄道分離)
1965(昭和40年) 近畿日本鉄道(株)と合併
1977(昭和52年) 西桑名駅移転(西桑名―馬道間0.1km短縮)
1992(平成 4 年) ワンマン運転開始
2000(平成12年) 近畿日本鉄道(株)が廃線表明
2002(平成14年) 沿線市町が三岐鉄道に存続運行を依頼
2003(平成15年) 沿線市町(桑名市・東員町・いなべ市)の支援により三岐鉄道北勢線運行開始
各種改善実施
無料駐車場・駅前ロータリー整備
行き違い駅を5駅から7駅(阿下喜駅含)に
駅の統廃合・廃止移転により 17駅から13駅に
曲線・橋梁改良 列車高速化・冷房化改修など
2014(平成26年) 北勢線開業100周年
2025(令和 7 年) 北勢線全駅にIC改札機導入



北勢線事業運営協議会
イメージキャラクター
ホクちゃん

北勢線事業運営協議会(北勢線対策室)

〒511-8601 三重県桑名市中央町2丁目37番地
桑名市役所 市長公室政策創造課MaaS推進室内
TEL:0594-24-1247 FAX:0594-24-5822
E-mail:info@hokuseisen.com
<http://www.hokuseisen.com>



三岐鉄道株式会社

〒510-8014 三重県四日市市富田三丁目22-83
鉄道部 運輸課 TEL:059-364-2143 FAX:059-364-2145
<https://www.sangirail.co.jp>
東員駅 TEL:0594-76-3690(時刻表・乗車券に関するお問い合わせ先)

